

プログラム

雑誌名	世界の日本研究
巻	2002
ページ	363-365
発行年	2003-03-31
その他の言語のタイトル	Conference Program
特集号タイトル	日本統治下の朝鮮：研究の現状と課題 Korea under Japanese Rule：Past and Current Research Results and Issues for Future Research
URL	http://doi.org/10.15055/00003893

「日本統治下の朝鮮：研究の現状と課題」 プログラム

2002年9月14日（土）～9月16日（月）

2002年9月14日（土）

11:00～12:00 レジストレーション（第一共同研究室）

司会：松田利彦（日文研助教授）

13:00～13:30 挨拶 鈴木貞美（日文研教授）

（第1部 基調講演）

13:30～14:30 尹 健次（神奈川大学教授）

近代／脱近代論と脱植民地主義

—研究の課題と方法論に関わって—

14:30～15:30 鄭 在貞（ソウル市立大学校教授）

日本統治下の朝鮮の社会と経済をどうみるか

—「開発論」と「収奪論」を越えて—

15:30～15:50 コーヒーブレイク

（第2部 各学門分野における研究動向）

司会：鈴木貞美（日文研教授）

15:50～16:50 水野直樹（京都大学教授）

植民地支配政策史研究の現状と課題

16:50～17:50 崔 吉城（広島大学教授）

植民地朝鮮の民族学・民俗学

18:00～19:00 歓迎レセプション（赤おに特別室）

2002年 9 月15日 (日)

司会：テモテ・カーン (日文研助教授)

10:00～11:00 李 鐘旻 (京都大学外国人研究員)

日本植民地支配と朝鮮社会変動

—社会学から見た現状と課題—

11:00～12:00 金 文吉 (日文研外国入研究員)

植民地下における日本キリスト教朝鮮伝道

—現状と課題—

12:00～13:00 昼食

13:00～14:00 布袋敏博 (早稲田大学非常勤講師)

朝鮮近代文学研究の現状と課題

—韓国での論議を中心に—

(第 3 部 個別研究に見る現状と課題)

司会 小松和彦 (日文研教授)

14:00～15:00 李 省展 (恵泉女学園大学助教授)

3・1独立運動時の朝鮮在住宣教師と植民地権力

—政治不介入の原則とその政治性をめぐって

15:00～15:20 コーヒーブレイク

15:20～16:20 宋 連玉 (青山学院大学教授)

旅券記録に見る女性人口移動

—帝国日本から植民地朝鮮へ—

16:20～17:20 松田利彦 (日文研助教授)

総力戦期の植民地朝鮮における経済統制法令の整備

と経済「犯罪」

17:30～19:00 夕食懇親会 (日文研内「解析室」)

2002年9月16日（月：祝日）

司会：金文吉（日文研外国人研究員）

9:30～10:30 辛 珠柏（成均館大学校教授）

民族運動勢力の共和主義・共存意識の変化に関する試論

10:30～11:30 朴 潤栽（延世大学校講師）

日帝初期医療関係者関連法規の頒布と植民支配

11:30～12:30 金 仁徳（韓国国立中央博物館学芸研究士）

韓国における在日朝鮮人史研究

12:30～12:50 コーヒーブレイク

（総括討議）

司会：松田利彦（日文研助教授）

12:50～13:30 ディスカッション

方 基中（東京大学外国人研究員）

笠原芳光（京都精華大学名誉教授）

南 富鎮（筑波大学非常勤講師）

並木真人（フェリス女学院大学教授）

橋谷 弘（東京経済大学教授）

13:30 挨拶 山折哲雄（日文研所長）

終了